

改善計画書

施設名 ライフステップぽづら

(担当者 釣井正明)

(作成年月日

令和4年11月1日作成)

改 善 事 項 等								
(施設として特に優れている点)	1	法人の理念や基本方針を常に念頭に置いて支援し、個々の利用者のニーズに沿った支援が行えるよう研修で学んだり、会議での周知や職員間での意見交換したりして一層努力します。						
	2	利用者の安全確保に関する各種マニュアルを整備し、事故の防止に努めていきます。又、法人として取り組んでいる感染症対策から法人本部の看護師により職員研修を行います。						
	3	ひとりひとりに対して主体的に活動できる環境を提供し、それぞれがありのままの自分を出表できるよう支援します。						
	4	家族の痛み、悩み、悲しみ、喜びを感じ、将来の子育てに希望が抱ける「ともに歩む」援助によって、親・兄弟など家族とともに力を合わせて暮らせるよう支援します。						
	5	地域の関係機関と連携し、さまざまな福祉サービスの利用を通じて、それぞれの成長を見守り、こころの準備を整えられるよう支援を行います。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
よくわかること	1	コロナ禍の為、保護者会の中止等で事業計画の周知が十分に出来ていない。		6カ月	R4年11月	R5年4月	個々の家族に対してオンラインや電話等を活用し事業計画の周知を行う。	管理者 サービス管理責任者 主任
	2	不安定となり生活環境の物品を壊してしまい、プライバシーの確保が出来ない。	利用者が刺激に影響されることなく、安心して過ごせる空間やプライバシーを確保する。	6カ月	R4年11月	R5年4月	個々の特性や実態に合わせて、生活場面でのプライバシーを確保する。又、安全に使用できるように修繕業者と相談をしながら生活環境を整える。	管理者 サービス管理責任者 主任
	3							
	4							
	5							
工夫すればできること	1	利用者の日常生活・日中活動の質の向上が十分に出来ていない。	利用者が安心して日常生活や日中活動が過ごせるようになる。又、満足度が向上する。	1年	R4年4月	R5年4月	個々の特性や実態に合わせて、ニーズやアセスメントを取り、担当職員や専門職員と連携を図り、生活・活動支援を実施する。	管理者 サービス管理責任者 主任
	2	個別支援計画に基づく記録内容や書き方が十分に出来ていない。	職員が個別支援計画を理解し、個別支援計画にリンクした記録記入が出来るようになる。	1年	R4年4月	R5年4月	職員会議や個別支援会議にて各個別支援計画を基に支援記録の書き方やポイントを上位職から現場職員へ説明や指導を行う。	管理者 サービス管理責任者 主任
	3							
	4							
	5							
予算化しないこと	1							
	2							
	3							
	4							
	5							